

◇まちなのれんけい室シンポジウム：3月23日（土）開催（於・パティホール（ノパティながの南館3階））

“顔の見える”関係づくりの熟成を目指して、石倉保彦先生（石倉医院）の基調講演「一步踏み出す“多職種連携”～かかりつけ医参加のカンファレンスから見えること～」があった。なお、「サービス担当者会議」開催のタイミングに関する質問について、石倉先生からは「ちよつと行き詰っている時、ケアマネジャーに声をかけている」との回答がある一方で、「担当者会議開催に努力してほしい」旨、ケアマネジャーに対する要望もあった。

「主張・PR」のコーナーでは、①河内長野市歯科医師会（医科歯科連携推進事業紹介）、②デイホーム寺ヶ池（業務案内）、③河内長野市医師会（ブルーカードシステム紹介）、④岩崎総合法務事務所（業務案内）、⑤河内長野市認知症地域支援推進員（ほんわかくらぶ紹介）、⑥キタバ薬局（業務案内）、⑦かなえるリハビリ訪問看護ステーション河内長野（看護小規模多機能型居宅介護紹介）、⑧河内長野市薬剤師会（入退院情報共有推進事業紹介）、⑨三光天薬局（在宅医療での薬剤師の関わり紹介）、⑩河内長野市医師会訪問看護ステーション（求人募集）、⑪マイライフ河内長野（有料老人ホーム紹介）、⑫田中行政書士事務所（業務案内）、⑬あかしあ薬局（在宅医療での薬剤師の関わり紹介）、⑭医療法人錦秀会（グループ紹介）、⑮滝谷病院（業務案内）、⑯水野クリニック（ミズクリ運動教室紹介）、⑰ふくしげ歯科（業務案内）、⑱さざんかりハビリ訪問看護ステーション（業務案内）、⑲府薬会宮南河内薬局（無菌調剤室案内）、⑳藤本病院（業務案内）、㉑さくらの杜千代田・さくらリハビリ訪問看護ステーション（業務案内）の順で、夫々約3分のプレゼンテーションが行われ、盛況のうちに終了。 <上記（ ）は主張・PR内容>

♡イベントの予告♡

第45回「在宅サロン」(講演)・第4回「在宅サロン“ミニ”」(懇談)：4月20日(土)午後2時30分～

人生の最終段階における医療と介護の連携シリーズとして開催。講師は、木澤義之先生（神戸大学医学部附属病院緩和と在宅医療科特命教授）で、演題は「アドバンス・ケア・プランニング ～いのちの終わりについて、話し合いをはじめる～」の予定。その後は、木澤先生を囲んでの懇談（在宅サロン“ミニ”）。<於・河内長野市医師会館3階>

☆参加希望の場合は、必要事項（医療機関名・TEL・FAX・氏名・職種）を書いて、地域連携室迄FAX（54-1567）にて要申込。

□大阪府在宅医療総合支援事業研修会（大阪府医師会）

◇在宅医療における個別疾患研修会：3月9日（土）開催（於・大阪府医師会館）

意思決定支援についての講演とグループワークが行われた。座長の辻 正純先生（東淀川区）から「生活や人生を考えるACPの情報収集には、多職種の密な連携が重要」とのコメントがあった。

◇在宅医療研修会：3月10日（日）開催（於・大阪府医師会館）

57郡市区医師会対象の在宅医療・介護連携推進事業に関するアンケート結果報告の他、「地域包括ケアと医師・医師会に期待される役割」と題する講演などがあつた。

◇河内長野市地域ケア会議いきいきフェスタ検討委員会：3月12日（水）開催（於・河内長野市医師会地域連携室）

次回「いきいきフェスタ」（9月29日・日）の内容検討など。本会からは、「在宅サロン“ミニ”」と若年性認知症対策の「出張スクリーニング」を実施する方向で検討中と報告。

◇南花台創生事業総合研究会：1月24日（木）・2月28日（木）・3月14日（木）開催（於・河内長野市役所）

いずれもコノミヤテラス（南花台）でのイベント開催、各種事業内容についての進捗報告など。なお、第1回

近未来技術等社会実装事業(自動運転)住民説明会&咲っく南花台住民集会在2月16日(土)に開催。

◇第4回ブルーカードシステムに関する打合せ:3月13日(水)開催(於・河内長野市医師会地域連携室)

ブルーカードシステム推進委員会の段取り合せの他、本システムの運用状況、今後の方向性の確認など。なお、裾野を広げる活動として、3月5日(火)・7日(木)・13日(水)・19日(火)には協力病院に関する懇談、3月14日(木)・4月3日(水)には協力病院訪問(3ヶ所)が夫々行われた。

◇河内長野市地域ケア会議ブルーカードシステム推進委員会:3月27日(水)開催(於・河内長野市医師会館)

本システムの運用や活動状況、「ブルーカードシステムに関するアンケート調査」結果の報告、「ブルーカード発行実例集」の紹介、クラウドシステム導入を含めた今後の計画の説明など。これに基づき、意見交換など。

◎34登録医療機関・40登録医、◎連携病院:榎本病院、さくら会病院、沢田病院、大阪南医療センター、岡記念病院、寺元記念病院(6病院)、◎協力病院:田辺脳神経外科病院、大阪はびきの医療センター、城山病院、藤本病院、近畿大学医学部附属病院、阪和いずみ病院、ベルランド総合病院、老寿サナトリウム、滝谷病院、青山第二病院、てらもと医療リハビリ病院(11病院)

◇クラウドシステムの導入:来年度より、「メディカルケアステーション(MCS)」(エンブレス㈱)によるクラウドシステム(完全非公開型医療介護専用SNS)を使って、ブルーカードシステムの運用精度を高めていくことになった。

☆関わり事例の窓③:医療介護・成年後見等で相談があれば、地域連携室迄連絡を!

○関わり事例:①90代⇒医療券の発行について。3月5日(火)~3月11日(月)対応。②80代⇒主治医意見書の作成について。3月12日(火)・13日(水)対応。③60代⇒暴言があり、困っていると。3月15日(金)から対応中。<関わり事例の窓において、合計9件>

④その他、電話相談(対応):2件、専門職相談:2件 <以上、詳しい病状等は略>

☆認知症の窓:認知症支援のことで相談があれば、地域連携室迄連絡を!

◆認知症地域連携連絡会:3月18日(月)開催(於・河内長野市役所)、認知症サポーター養成講座、おれんじくらぶ(認知症家族対象勉強会)、認知症パートナーの個別支援活動の状況報告、意見交換等があった。他に、チーム員活動(山口看護師)として、3月20日(水)東部<デイサービス体験同行>。

◇認知症パートナー例会:3月14日(木)開催(於・河内長野市役所) 市民啓発に向けて

本会から、製本版「多職種のためのしゅうかつ(終活)ガイダンス」と「元気なしゅうかつ(終活)マイ・ノート」を配布し、元気な「終活」のあり方や成年後見制度の概要について説明。また、「まちかどカフェ」(旧おれんじカフェ)、市民公益活動(ボランティア)補償制度、「ほんわかくらぶ」(認知症の方同士の集いの場)、「おれんじファーム」、「カレーパーティー」、個別訪問について、情報共有、確認等があった。

□河内長野市医師会認知症部会:第2回3月28日(木)開催(於・河内長野市医師会地域連携室会議室)

経過報告や今後の展開検討の他、事例検討が行われた。第3回は4月18日(木)午後3時から、地域連携室にて開催予定(別紙)。

◇河内長野市との懇談:3月1日(金)・13日(水)に保健福祉部担当者と諸施策等について意見交換。

☆**地域における“顔の見える”専門職の多職種連携の推進のために！！**

(1)れんけいカフェ(偶数月の第4水曜日)の第17回は4月24日(水)、第18回は6月26日(水)、いずれも午後2時(会議)から開催予定(申込不要)。当日、何かPRしたいことがあれば、事前に地域連携室迄連絡を！

(2)プチれんけいカフェは、下記(3)の結果を基に、第7回シリーズを4月3日(水)に開催予定。テーマは、「10連休の対応・対策 ～そして、今後の連休対策について～」。

(3)緊急「10連休に関するアンケート」の実施(3月7日～3月12日FAXの送受信による)。概要は次の通り。

①業務日については、概ね4月30日と5月2日は休まない(開ける)という所が多くあった。②事前の利用者への連絡、便宜に供する対応については、告知表の事前貼り出し(掲示)、業務予定日や緊急連絡先の連絡(配布)を行うという所、また、利用者の希望を聞いてサービスを提供する、前もって(日数多めの)薬剤処方をするという所があった。③急変時の対応については、ブルーカードシステムの円滑な稼働が願われている回答があった。一方、10連休については、「いい」点、「困る」点が各々挙げられていたが、概ね「個人的には連休はうれしいが、専門職の立場からすれば、課題も多い」という意見に集約された。特に、「困る」点として、①緊急時対応・連携の不安、②サービスの停止、③治療効果の消退、④救急病院・休日診療所の混乱、⑤連休後の診察(業務)の大変さ(多忙、混乱)、⑥転退院業務(相談)の停滞、⑦(10連休なのに)国保連合会の締切期日変わらない等が挙げられた。また、参考的な意見としては、「皆が一斉に休むというより、各自の有給休暇の完全な取得が望ましい」があり、(国施策として)有給休暇が取りやすい環境づくりの構築が急務であることを印象付けた。これこそ、医療介護福祉分野における働き方改革の第一歩かもしれない。更には、連休対策や災害時対応も含めて、今後“多職種連携”は益々重要となっており、ICTの導入・活用がその有効手段の一つであることが改めて浮かび上がってきた。

☆「終活」に関するお知らせ ☆ ～ACP(アドバンス・ケア・プランニング)の愛称は、「人生会議」に～

(1)超高齢社会における「終活」を理解し、それを実践するために、(イ)「多職種のためのしゅうかつ(終活)ガイド」～今をよりよく、自分らしく生きる～と、文書のススメとしての(ロ)「元気なしゅうかつ(終活)マイノート～自分のために、周りのために～」(河内長野市版エンディングノート)を刊行。今般の法律改正に伴うマイナーチェンジをした修正版を現在配布中。なお、(ロ)はカスタマイズ用のコピー版(ホッチキス止めをしていないもの)の提供も可能。(イ)(ロ)の修正版・コピー版を希望の場合は地域連携室迄連絡を！

(2)「終活」に関するセミナー・研修会は、次の通り。

①特別セミナー「知っておきたい成年後見」:3月4日(月)開催⇒成年後見制度(法定後見・任意後見)の概要説明があり、その必要性が強調された。他に、その利用のタイミングなど。(於・大阪府行政書士会館3階)

②堺市SS(セカンド・ステージ)塾「エンディングノートを書いてみませんか」:3月23日(土)開催⇒元気な「終活」(ハッピー終活)の勧め、エンディングノート記入の勧めとその留意点(無理して書かない、全部書かない、書きたい時に書きたい所から書く、その後の訂正、修正もあり)などが伝授された。(於・堺市総合福祉会館)

③ソナエ博セミナー「今日から始める相続対策」:3月25日(月)開催⇒相続の概要(調停・審判状況、相続分、遺留分、特別受益など)、遺言書の種類・作成の要点、エンディングノートのメリット、今般の民法改正内容等について縷々説明があった。その中で、「予防法務の観点から、遺言書作成は、紛争防止につながる。争族にならないためにも、ぜひ遺言書を書いてほしい」と強調された。(於・スイスホテル南海大阪)

☆河内長野市医師会地域連携室 <TEL:54-1700 FAX:54-1567>

(まちのれんけい室) <メールアドレス:chiikirenkei4@kawachinagano-ishikai.com>

平成31年4月1日(月)

会 員 各 位

一般社団法人河内長野市医師会
会 長 中 林 才 治
理 事 宮 崎 浩

第3回河内長野市医師会「認知症部会」の開催について

謹啓 春風の候、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

本会では、認知症問題に関して、かかりつけ医と専門医との診診連携はじめ、更に充実した多職種連携体制を整え、誰もが、安全で安心して暮らせる社会の実現を目指すべく、認知症部会(以下、「本部会」)を設置しました。

本部会では現在、認知症に関する事例検討等を行っておりますので、何か報告したい、聞いてほしい、或いは検討してほしい事例等がございましたら、事前に地域連携室までお申し出下さい。

業務ご多端の折、誠に恐縮ではありますが、下記の通り本部会を開催したいと存じますので、ぜひご出席を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。なお、参加の申込みはございません。当日直接、地域連携室会議室までお越し下さい。 謹白

記

- ☆日 時 4月18日(木)午後3時～ (約1時間の予定)
- ☆場 所 河内長野市医師会地域連携室会議室 (河内長野市菊水町 2-13)
- ☆次 第 1. 開会・挨拶
(予定) 2. 報告・説明
3. 事例検討
4. その他
5. 閉会

※駐車スペースあります。

☆連絡先：河内長野市医師会地域連携室

TEL 0721-54-1700

FAX 0721-54-1567

メール chiikirenkei4@kawachinagano-ishikai.com